

※ CONTENTS

- 02 大塚市政 2期目の船出
- 03 市長就任のごあいさつ
- 04 小・中学校全国学力調査結果
- 06 岩瀬小で英会話交流スタート
筑波山地域ジオパーク NEWS
寄付・寄贈
- 07 まちの話
- 08 さくらマラソン大会募集
- 09 ヤマザクラ通信 vol.3
- 10 健康ガイド
- 12 情報ひろば
- 15 文芸さくらがわ
- 16 年長さんご紹介

※ 表紙

さくらがわの秋(曙光山月山寺・
曠静山薬王寺・椎尾山薬王院)



市内には、紅葉を楽しめる名所が数多くあります。
写真は、曙光山月山寺（西小
高地区：中央上）、曠静山薬王寺
（青木地区：左下）、椎尾山薬王院
（真壁町椎尾地区：右下）それぞ
れの紅葉の様子です。

※ 桜川市の人口と世帯

【人口】	43,051人	(- 56)
【男】	21,300人	(- 34)
【女】	21,751人	(- 22)
【世帯】	15,359世帯	(- 21)
	()	は対前月増減
	住民基本台帳	
	平成 29 年 11 月 1 日現在	

更なる飛躍を目指して、
大塚市政 2期目の船出



10月25日9時に2期目を迎える大塚市長が大和庁舎玄関前に到着。職員から花束を受け取り、支援者の方や市職員から大きな拍手で迎えられました。

人口減少に歯止めをかけ、
地域の活性化を目指す！ 6項目の主要政策

命と健康を守ります

さくらがわ地域医療センターと、茨城県西部メディカルセンターを中心とした地域医療体制を確立し、子どもから大人まで安心して暮らせるまちづくりを進めていきます。

産業を元気にします

桜川筑西インターチェンジ周辺の開発を進め、企業立地、民間活力による商業施設、医療施設の整備により産業の活性化を図ります。商業施設内には、農産物直売所や石の展示場を設けて、市の魅力を発信していきます。

また、上曽トンネルを整備し、安全性・利便性の向上や交流人口の拡大・地域活性化を目指します。

さらに、県所有の岩瀬工業

団地への侵入道路(ラスカ・南飯田地区)を整備し、企業の進出しやすい環境を作ります。

農業を盛り上げます

農業者育成や農業生産基盤の整備推進、観光分野と連携により、農業および農作物のPRをしていきます。

また、耕作放棄地の解消に加え、イノシシの捕獲・防獣の強化にも努めてまいります。

教育を充実させます

教育環境の整備を進め、国際交流を通じた語学教育など、子どもたちが元気に楽しく学べる学校を作ります。

また、桜川市立小中学校適正配置計画策定委員会を設置し、保護者や地域の方々のご意見を織り込みながら、小・

中学校の適正配置を目指します。

観光に力を入れます

「桜川のサクラ」や「高峯のヤマザクラ」を中心に、市内全域でヤマザクラの保護・保全活動を推進し、観光客の増加を目指します。

また、土産物開発などによる地域商業の活性化、ヤマザクラ文化の醸成、地域と協働した環境整備や、景観形成の促進などの施策の相互連携を図り、日本一のヤマザクラの里を実現させてまいります。

行財政を立て直します

公正公平な行政運営を進め、ガラス張りの市政を目指します。

また、厳しい財政状況をふまえて経費の削減を行い、効率的な財政運営に努めていきます。

「住みやすいまち、
住んでみたいまち、
誇れるまち、
元気な桜川市」に

市民の皆さま、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

私は、去る10月22日に行われました桜川市長選挙により、市民の皆さまのご信任を賜り、引き続き、市政運営のかじ取りを担わせていただくことになりました。改めて、その責務の重さを感じるとともに、市民の皆さまのご期待に応えるべく、身の引き締まる思いでございます。

平成25年10月に市長として就任以来、市民の皆さまとの対話を心掛け、地域医療の再建や企業・商業施設の誘致、小中一貫校の整備などの重要課題に真正面から向き合い、一歩ずつではありますが、全力で取り組んで参りましたが、これらの施策が実現できたことも、市民の皆さまのご支援ご協力の賜物と、この場を



大塚市政 2期目に向けて
市長就任のごあいさつ

お借りし、心から深く感謝申し上げます。

2期目の市政を担うにあたり、現在の桜川市にとつての最重要課題が、いかにして人口減少に歯止めをかけるか、ということでございます。そのために、企業誘致を推進し、雇用拡大を図り、人口増加に向けた「住んでみたいまち」を目指してまいります。

また、小・中学校の適正な配置や認定こども園の民営化を推進することで、子育て家庭のニーズに応えつつ経費削減を行い、その削減分を活用して、給食費の無料化を目指し「住みやすいまち」を実現させたいと考えております。

そして、桜川市第2次総合計画に掲げた「ヤマザクラと市民の幸せが咲くまち 桜川」を市の将来像とし「住みたい」「これからも住み続けたい」

と思えるような魅力的なまちづくりに向け「命と健康を守る」「産業を元気にする」「農業を盛り上げる」「教育を充実させる」「観光に力を入れる」「行財政の立て直し」の6項目を主要政策に掲げ、市政運営に努めてまいります。今後とも引き続き、皆さまのご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。市長就任のご挨拶といたします。

桜川市長 大塚 秀喜



初登庁後の職員訓示で「住みやすいまち、住んでみたいまち、誇れるまち、元気な桜川市にしたい」と市職員に呼びかける大塚市長



支援者の方と握手を交わす初登庁した大塚市長